

9月は防災月間!!

# 地域で防災を考える

発行  
和田町タウンマネジメント協議会  
担当  
高見沢実  
和田べんプロジェクト(猪原真理子)  
Tel 045-339-4066

## — 第55回目の協議会の概要 —

第55回協議会が8月18日(水)に開催されました。今回は、地域の方々に加えて、スタジオ★へそちくや神奈川県中小企業団体中央会、保土ヶ谷区役所、ヤマハ発動機販売(株)の方々、横浜国大の教員・学生など計24名が参加しました。

協議会では、ヤマハの電動アシスト付自転車による社会実験について、ヤマハの助言をもとに実施の方法などについて協議しました。また、各プロジェクトの進行状況の報告のほか、8月23、24日の「地蔵まつり」と10月17日開催予定の「こどもまち探検プロジェクト」の打ち合わせが行われました。

## 和田町での防災対策は…?

毎年恒例となったこどもプロジェクトによる「まち探検ワークショップ」が10月17日(日)に実施されます。今年も引き続き、「防災」「福祉」の視点で、こどもたちが町内を回り、調査に基づいたマップを作成します。一時避難場所の確認や、要援護者の方からのお話を聞くなどして、災害時に強い街を考えていきます。

和田町にはお年寄りの方や障害を持っている方など、災害時に一人で避難することが困難な「要援護者」の方々がたくさんいます。そして、そのような方々を災害時に街の人が協力して手助けできるように、「要援護者」の登録を今年の7月に町内で呼びかけたところ、150名を超える方からの申請がありました。

このような取り組みもあり、和田町は、保土ヶ谷区の中でも防災に対する意識の高い地域のモデルとして認められています。

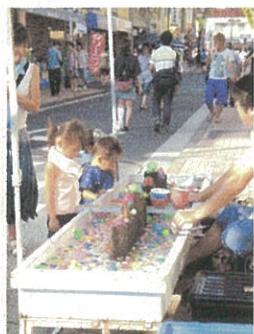
和田町タウンマネジメント協議会  
『地域とこどもプロジェクトチーム』  
担当 藤岡まで  
✉ yfujioka@ynu.ac.jp  
☎ 045-339-4067



## 夏の終わり(?)を飾る

8月23日(土)、24日(日)の2日間、商店街通りは「和田地蔵まつり」に訪れる人々で賑わっていました。

16時から行われた「打ち水大作戦」では、100人以上のこどもが参加してくれました。こどもたちが頑張ってくれたため、連日の猛暑に焼けたコンクリートも冷やされ、通りが涼しげになりました。参加して



くれたこどもたちには、そばの種・ジュース・交通安全のための反射リストバンドが配られました。

また、その他にも、夜の通りを照らすさまざまな露店や、大きなステージで行われるイベントなど、同じお祭りでもべっぴんマーケットとは一味違った風景が新鮮でした。

## ミツバチのお休み

今年の5月からスタートした昭和建設による養蜂プロジェクトは、花の多い時期が過ぎたため、今回の地蔵祭りでの出店を最後にしばらくお休みに入ります。ミツバチはこれから冬に向けての準備に入ります。

来年はもう少し早めからスタートし、春の花の蜜が味わえるといいですね♪



## — 編集後記 —

夏休みも終わって、街にはまたいつもの景色が戻りました。

異常な暑さにより、高齢者の方が室内で亡くなるなどといったニュースが流れ、近隣同士のつながりが大切だと感じた夏です… 一体夏はいつ終わるのでしょね(>\_<)

和田べんプロジェクト